

平成26年度 第1回 磐田市文化財保護審議会（結果概要）

日時 平成26年12月18日(木) 10:30~11:40
場所 磐田市埋蔵文化財センター 2階 研修室
出席者 磐田市文化財保護審議会委員 10名中8名
平野吾郎会長 小杉達副会長 芹澤拙夫委員 日比野秀男委員
鈴木敬雄委員 坪井俊三委員 小和田美智子委員 加藤理文委員
出席職員 教育委員会事務局職員 7名
鈴木博雄教育部長 大箸清雄課長 村松課長補佐 佐藤主幹
竹内主幹兼調査グループ長 安藤主査 富永副主任
傍聴人 なし

議事 報告事項

(1) 掛塚の津倉家住宅等の寄附受領について

〔事務局からの説明〕

津倉家は、江戸時代から掛塚で材木商・両替商、次いで廻船問屋を営み、廻船業で栄えた掛塚の中でも有数の規模を誇っていた。今回、津倉家から津倉家住宅の土地・建物について寄附の申し出があり、市としてこれを受領した。現在、今後の具体的な活用方法について検討しているところである。

〔主な意見〕

- ・地域を巻き込んで、活用方法を全庁的に検討するべきではないか。
⇒そのように考えているところであり、鋭意検討していく。

(2) 特別史跡遠江国分寺跡整備事業について

〔事務局からの説明〕

国の特別史跡である、遠江国分寺跡について、再整備事業の資料を得るための発掘調査を平成18年度から行っているところであるが、今年度をもって調査は終了となった。

平成27年度に調査成果を報告書として刊行していく予定であり、調査成果を踏まえての具体的な整備事業について、遠江国分寺跡整備委員会における審議を行い、具体的な再整備を進めていくこととなる。

〔主な意見〕

- ・具体的な整備事項について、現状の分析を踏まえて具体的な根拠づけをし

たうえで策定をしていただきたい。

⇒そのように策定してゆきたい。

(3) 国の登録有形文化財（建造物）への登録答申について

（玄妙寺経蔵・門柱及び塀、穂積家住宅長屋門）

〔事務局からの説明〕

平成26年7月18日に、市内の2箇所(3件)の建造物について、国の登録有形文化財建造物への登録が答申された。本件を含めると、市内文化財の国の登録有形文化財建造物への登録は8箇所(17件)となる。

(4) 主な文化財調査について

(5) 主な文化財啓発事業等について